

経営比較分析表（令和2年度決算）

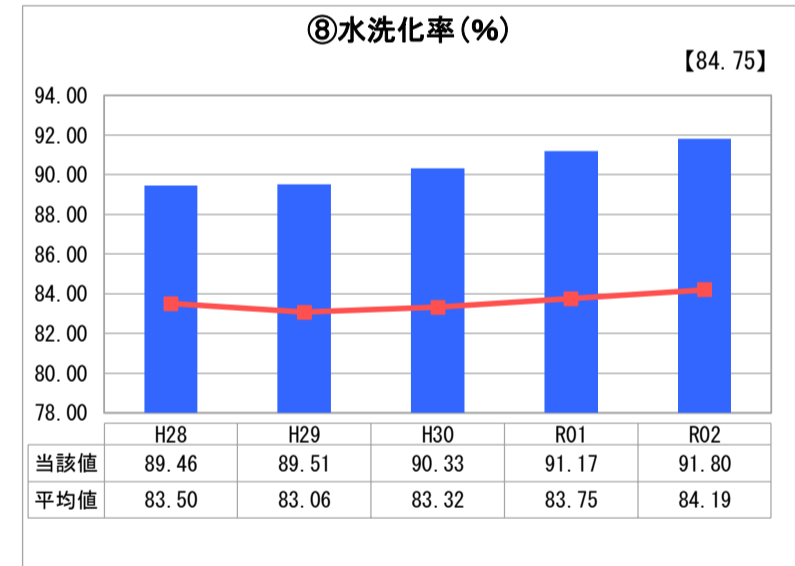
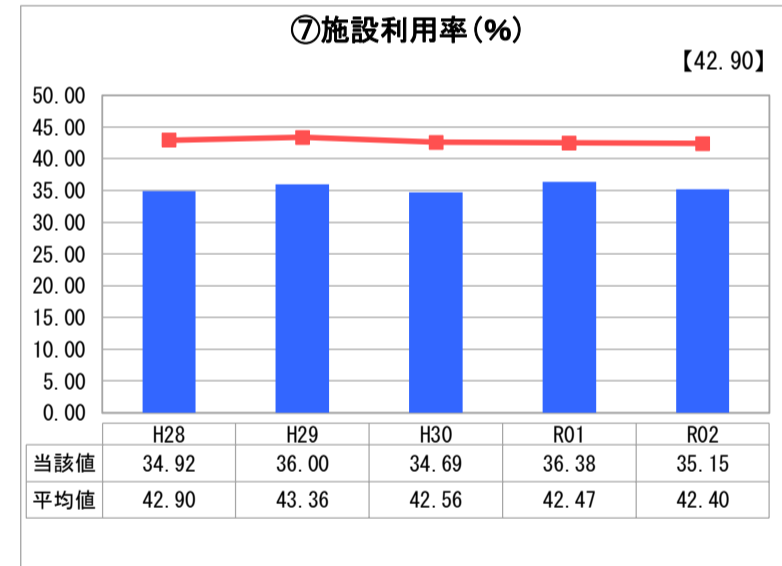
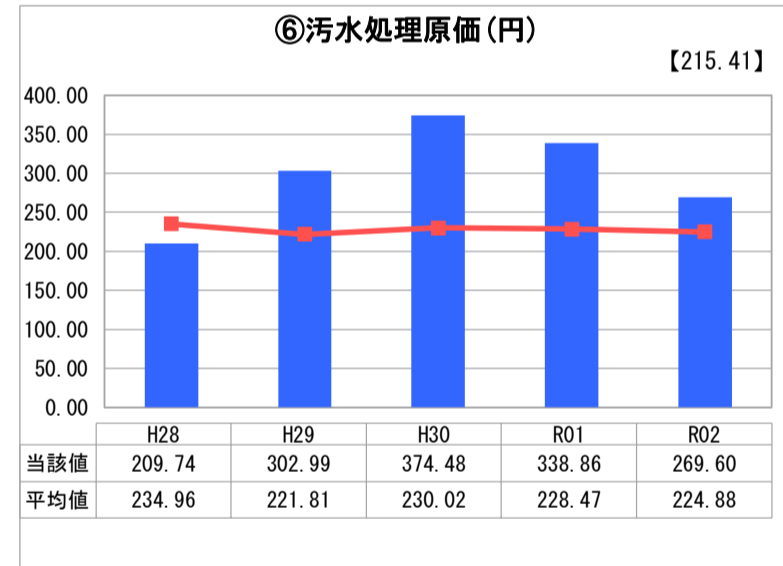
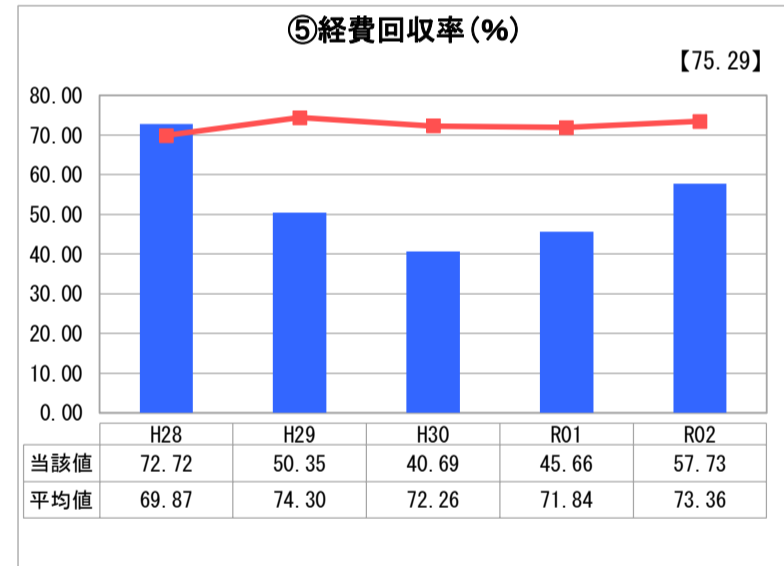
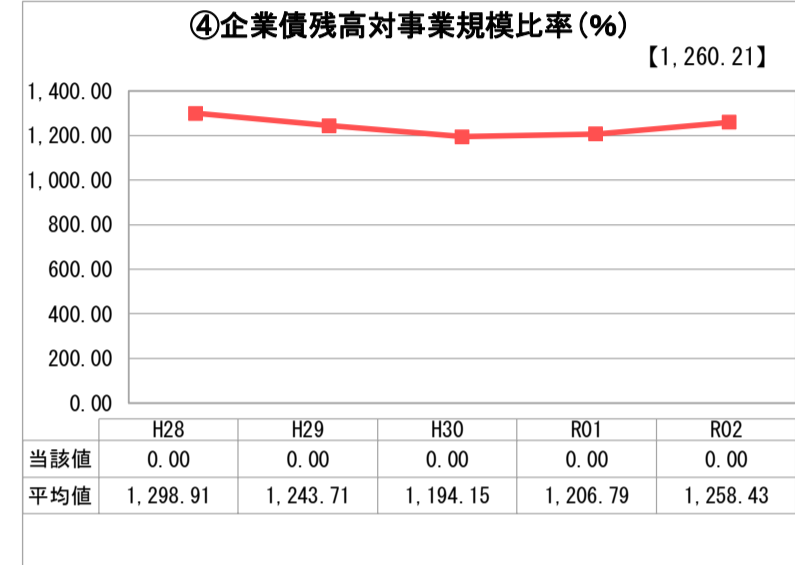
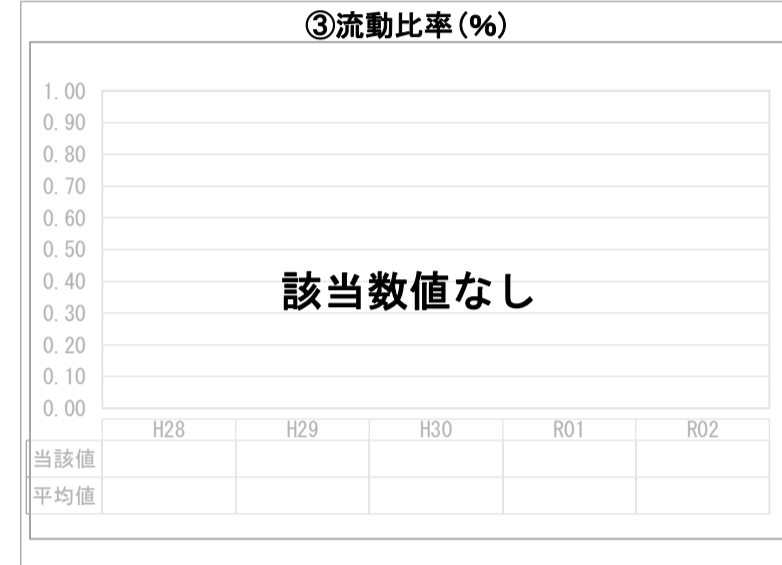
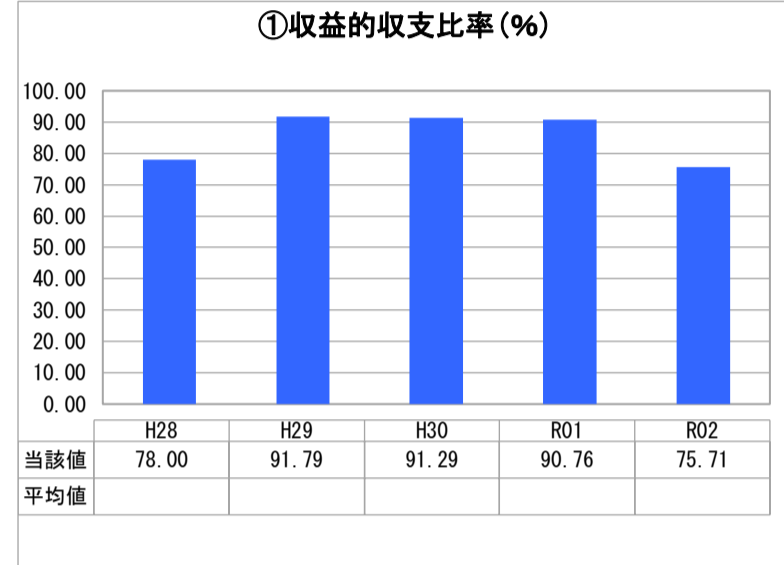
栃木県 那須烏山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.28	83.51	2,805

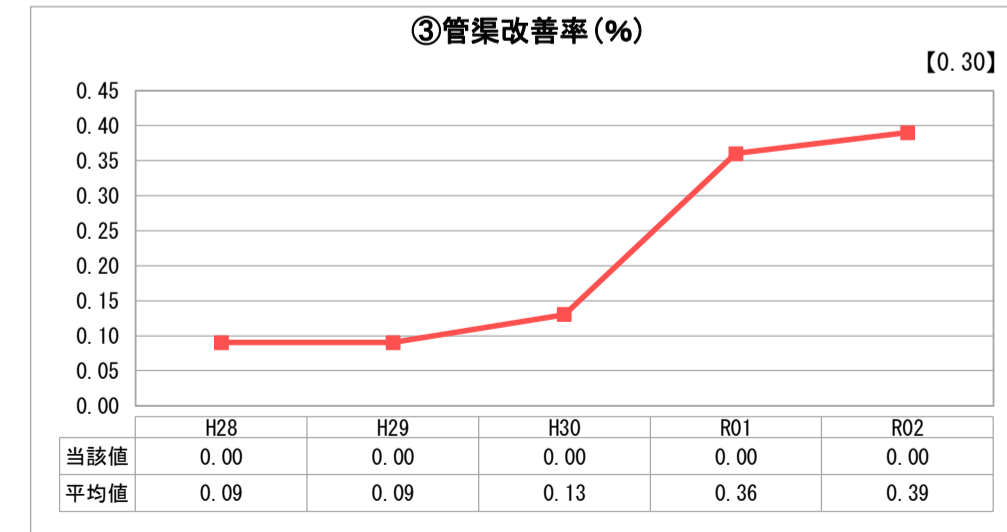
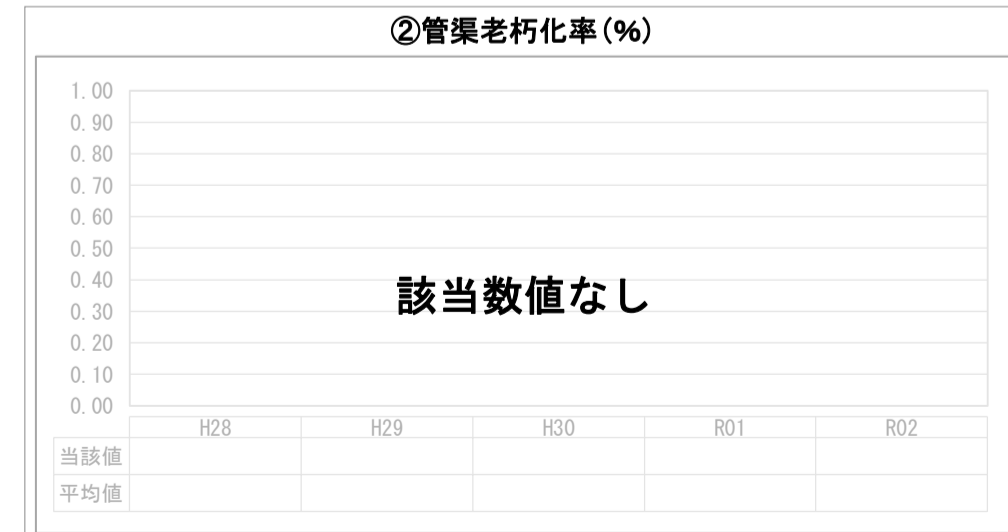
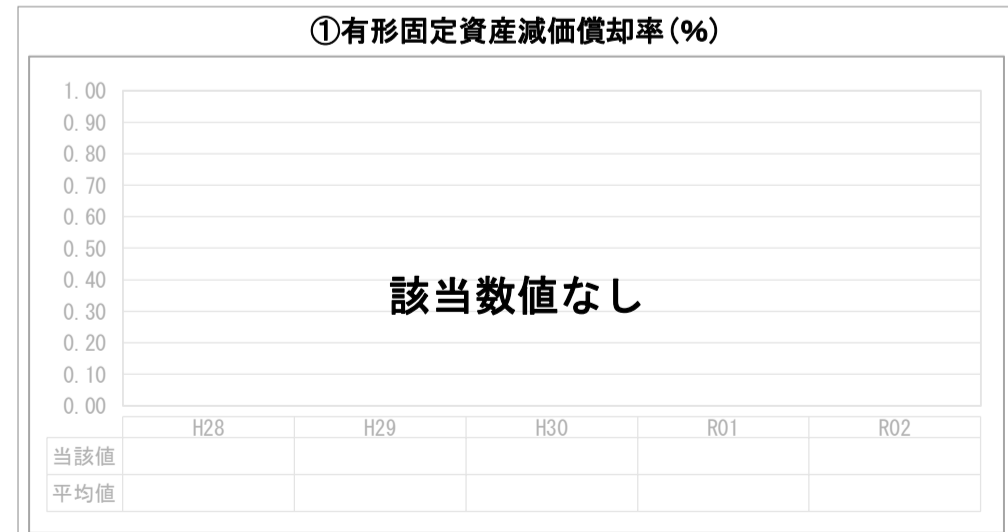
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,567	174.35	146.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,341	0.64	2,095.31

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率と汚水処理原価については、類似団体と比較すると、いまだ改善しなくてはならない状況であるため、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況である。健全で持続的な事業経営を実現するため令和5年度からの地方公営企業法の運用に向けて移行業務に着手している。

2. 老朽化の状況について

平成10年3月31日供用開始のため、耐用年数内ではあるが、将来的には施設更新用の高額な工事が予想されるため、令和3年度よりストックマネジメント計画を策定し取り組むこととしている。

全体総括

平成24年度全体計画変更により、現工事済みの区域にて建設事業完了となっているが、さらなる水洗化率の向上及び料金改定が実施されるまでは、現状の状態と見込まれる。ただし、公共下水道と併せて早急な検討が必要である。将来的に予想される、施設及び管渠の改築更新等については計画性をもって対応する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。